

佐土原 R C

週報



国際ロータリー第2730地区
佐土原ロータリークラブ
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル神宮寺 0985-73-0015

自分を超えた眼を Look Beyond Yourself

Rajendra K. Saha
ラジェンドラ・K. サハ
1991~1992年度 R I 会長

- 1992.5.29(金) 第223回例会
1. 点鐘
2. ロータリーソング「高めよロータリー」
3. 「四つのテスト」唱和
4. 食事
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 各委員会報告
8. 会長エレクトより次年度方針について
9. 点鐘

第222回例会記録 (1992.5.22)

会長の時間 濱田 松太郎

皆さん今日は、本日は第222回例会です。

春の終りにさわやかな天候を与えてくれました
た帯状高気圧や移動性高気圧が、次第に北上す
るにつれ、北日本では晴天が多くなってきます。

反面、東日本から西におきましては北高型の
気圧配置となりまして、南岸沖に前線が停滞し
てきますと、雲りや雨の日が多くなってきます。

いわゆる「はしり梅雨」といわれ、五月雨は
花を腐らすとの言い傳えから、「卯の花くたし
とも呼ばれているわけです。6月の梅雨期に至
りますと、いろいろと胃腸病等の発生が予想さ
れますですが、皆様には十分ご健康にご留意のうえ
ロータリークラブ例会出席をお願い申し上げま
す。

さて、本日は陽明学の祖でもあります王陽明
(1472~1528)について申し上げたい

と思います。王陽明は中国時代の儒学者ですが、
彼の説いた、「激せず、躁がず、競わず、隨わ
ず、以て大事をなすべし。」について話を進め
ていきたいと考えます。そして、この語句の前
に、「冷に耐え、苦に耐え、煩に耐え、闇に耐
え」とありますので、それにもふれてみましょ
う。

「冷」とは冷遇、「苦」とは苦難、「煩」と
は煩忙、「闇」とは閑暇のことです。これらに
耐えるとともに、激高もせず、躁がず、人と競
わず、かといって追随することもない、そうす
ることによってはじめて「大事」というものは
成立するものである、と説いておられます。

王陽明は中国時代の政治家であり、思想家で
もありまして、儒教の立場にありながら、当時
主流でありました朱子学を批判し、陽明学と呼
ばれる独自の思想を生み出したのでした。

その思想は、中国南方の反乱を鎮圧する軍事
行動の中で形成され、そのこともあって机上の
論理に終始することなく、大変実践的でユニー
クでもありました。王陽明は、「知行合一」と
か、「致良知」という言葉で表わすように、生
きた知をそのまま実践することを重んじたので
あります。我が国においては、江戸時代前期
に中江藤樹がこの思想を受け継ぎ、佐藤一斎や
大塙平八郎といった幕藩体制を揺るがせた特異
な人物が輩出しました。幕末になりますと、吉田
松陰・西郷隆盛・戦後になりますと作家で有名な
三島由起夫が陽明学の影響を受け
ていたといわれております。

事務局〒880-03 宮崎県宮崎郡佐土原町大字上田島20 (株)宮崎食品サービス内 TEL 0985-0044
会長 濱田松太郎・副会長 堀玉武文・幹事 鈴木正敏・会計 藤堂孝一・会報責任者 垂水敏雄

この「激せず…………隨わづ」の言葉ですが、一見消極的で地味のようですがそれとも、その意味するところはそこぶるすさまじいものを秘めているようありますと、「大事」を達成できる本当の強さは、このように外的には極力平静を保ちながら、内部にエネルギーを蓄えることによってはじめて生れるわけあります。

そして、「じっと耐えながら好機到来まで力を蓄える」のも、リーダーとしての器量と勇気が大切なことは言うまでもないことありますと、反面、僕達ロータリアンとして、はたまた一国一城の主としての心構えとして、かくありたいものとすごく感動を覚えましたので、一言申し上げた次第です。

次は、ロータリー財団75秒の第3週へ移らせていただきます。

本日のタイトルは、「北アイルランド：地域レベルの最初のロータリー平和プログラム開催地」です。アメリカの人類学者のマーガレット・ミード女史はかって言いました。「思慮深い献身的市民の小グループで世界を変えられるとということを、決して疑ってはなりません。実際それが世界を変える一つの方法です。」

平和探究は、いつも緊急の問題です。ですから、国際ロータリーとロータリー財団は、理解と国際親善を推進する教育的プログラムを創設したのです。試験的プログラムのロータリー平和会議は、財団委員会によって正式にロータリー平和プログラムとして採択されました。そのとき一つの大きな改正が加えられました。プログラムは国際レベルのフォーラムや会議の資金を出すだけでなく、平和問題に関するクラブまたは地区の活動にも助成金を出すことに決まりました。最初このような「地域レベル」のロータリー平和プログラムは、ベルファスト・ロータリー・クラブと第1160地区の共催により1991年11月9日に北アイルランドのベルファストで開かれました。42のロータリー・クラブの100人以上のロータリアンが、「よ

りよい理解を目指して」と題する研究集会に集りました。研究集会では、六つの斬新的なプロジェクトを通じて提起された「地域ぐるみの提携」の可能性を探りました。このプロジェクトにおいて、ロータリアンと他の地域団体は、アイルランド全土の明るい将来を築くことができるでしょう。プロジェクトは、国境横断研究旅行をはじめとして、相互理解に関する全アイルランド・エッセ・コンテスト、若い人々のボランティア奉仕の機会、失業者と障害者を援助するプロジェクトなどいろいろあります、すでにロータリー・クラブの支援を得ています。

本ロータリー年度の平和プログラムは、ラジエンドラ・サブー会長主催の、協力と開発のための主要な五つの国際会議にも資金援助をしています。食糧生産と慢性的な飢餓が、2月20～22日にトリニダードで開かれた第1回会議の中心テーマとなります。第2回目は、2月28日にニューヨーク市の国連本部で開催され、世界の識字率向上に国連とロータリーが協力することに重点を置きます。4月3日～4日にハンガリーのブダペストで開かれる会議の重要なテーマは、東欧の経済と職業の機会です。バングラデシュのダッカは、4月17日～19日に、相互協力という地域目標に関する会議の開催地となります。経済開発とロータリー奉仕プロジェクトの強化が、5月15日～16日にトルコのイスタンブルで開かれる年度最終会議の中心テーマとなります。

幹事報告

鈴木 正敏

1. 申間ロータリー・クラブより、宮崎県立福島高等学校インター・アクトクラブ認証状伝達式の案内が来ております。6月13日 13時～
2. 例会変更通知

- 都城中央RC 5月28日の例会は、5月24日9:30より 池田空びんに集合
- 日向東RC 5月26日 19:00 姶莊
- 宮崎北RC 5月27日 18:00 ホテル・フェニックス

出席委員会より 委員長代理 岩切 正司
会員数 17名
欠席者数 3名
H C 出席者数 14名
出席率 82.35%
欠席者名 池田(某)・郡司・井下

ビジタ一
西都RC 尾崎 公男君 椎 宏樹君
" 河野 謙二君 福本 博君

委員会報告 会長エレクト 岩切 正司君
全国高校総体の件で、次年度会長ということ
で出席いたしました。全高総体を当町としても
盛り上げるために、旗1旒2000円、賛助広告
料3万円～5万円を町内の皆さんに協力してい
ただきたいとのことです。2000円の旗を駅
前の通りにずらりと並べる予定だそうです。

詳細は、当日の会議資料を会計さんにお渡し
しておきますので、会員の皆さんもよろしくご
支援くださいますようお願いします。

5月16日～17日に、鹿児島サンロイヤル
ホテルで開催された地区協議会に出席しました。

藤堂孝一君(次年度幹事)・佐野 保君(次
年度クラブ奉仕委員長)・鈴木正敏君(次年度
国際奉仕委員長)・垂水敏雄君(次年度R情報
委員長)の4名と一緒にでした。

会長・分区代理部会でガバナーから要請があ
りましたのは、各クラブとも暫定理事会を開いて
来年度の計画を立ててもらいたい、といふこと
でした。そこで、当クラブとしましては、5月16日(金)
午後7時30分から神宮寺ホテルで理事会を開催したい
と考えますので、なにとぞご出席くださいますよう
お願いいたします。

第1日目は、井上ガバナーの挨拶、本坊ガバ
ナーノミナーの次年度の地区組織及び運営につ
いての提案、各地区委員会の報告などがありま
した。

昼食時、宮崎市内5RCの会長と雑談をしま

したが、宮崎中央RCの野中会長は、ロータリー
クラブは貯金と同じで、初めに辛抱したら
金利で自然と増えていくように、創立後退会者
を出さないように努力すれば、いつの間にか会
員は増えていくものである、と言ってくれま
した。串間RCは創立間もないのですが、36名
の会員中、退会者は3名だけということでした。

確かに当クラブはやめる会員が多過ぎるよう
です。何とか考えなければいけないと思います。

それから、5名の新会長は、会長になったら
あまりしゃべらないようにしたいと口を揃えて
言っておられました。私も、食事には25分ぐ
らい時間をかけて、みんなが席を替ってそれぞ
れ話し合うような余裕を持ちたいと思います。

クラブ例会に来て本当に楽しかったと皆さん
が感じるようなクラブにしたいものだと考えさ
せられた次第です。

会員卓話 最近のエイズについて
(5/15) 山脇 忍君

国際的に「エイズ安全地帯」とされていた日本が、輸入感染の時代から国内感染の時代に入
りつつあります。その一つの象徴が、アジアから出稼ぎに来た女性たちであることが、厚生省
のエイズ・サーベイランス委員会のデータから明らかになり、俄に注目を集めています。

エイズの患者が最初に気づかれたのは、1981年6月で、今から10年余り前です。実際
に疾患として成り立ったのは1982年9月です。このように非常に新しい病気です。

最初に気づかれたのは、原虫性の肺炎といわ
れる珍しいカリニ肺炎で、若い人に統々と出て
きたことです。同じように極めて珍しいと考え
られていたカボシ肉腫(皮膚の毛細血管と細胞
の増殖を主徴とする母指頭大の肉腫)が、高齢
者にしか出ない非常に発育の遅い癌であるとい
う從来の常識に反して、若い人に短期間のうち
に非常に沢山出てきました。

若い患者は共通に男性同性愛者であり、抗体

を作るリンパ球がやられているという点が基礎にあるということがわかりました。

これは新しい感染症の病気であり、そのもとなる血液、あるいはそれから作った血液製剤の中に含まれる感染因子であり、その感染によって免疫不全がおこり、そこにはいろいろな日和見感染や二次的な腫瘍が起こるのであると解されました。

そういう新しい病気を AIDS と呼ぶということで、1982年9月にその定義ができました。

AIDS の患者についてみると、アメリカで1988年3月の時点で男が約5万人に対して、女が4千人ほど、12対1ぐらいの比率になっています。

男の方を見ますと、ホモが70%、静脈注射による薬剤常用者が15%、両方兼ねた人が8%で、合わせると93%に達しています。

異性間セックスで移った人が2%、輸血で感染した人も2%となっています。

女性を見ると、半分は麻薬常用者で、次に第2位で30%を占めているのが異性間接触で、ウイルス保有者の男性から移ったもので、女性の場合はこれが有力な原因になっています。

3位は輸血です。

アフリカにおいては、異性間接触による感染が主体をなしています。

エイズのウイルスに感染すると、無症候ウイルス保有者、エイズ関連症候群、典型的エイズと進みますが、どれくらいがエイズに進むかということが重要です。

CDC の調査結果による予測では、エイズ・ウイルスに感染して3年以内に10~15%、5年経つと25~30%、6年で36%、7年で42%、8年で60%となっています。この計算でいくと、15年経ったら100%になってしまいますことになります。

わが国のエイズ・ウイルス感染者が、昨年は

238人と、前年の2.5倍にのぼっています。異性間の性行為による感染の急増が目立っています。

昨年のエイズ感染者（血液製剤による感染を除く）は、男性116人、女性122人で、これまでの感染者総数は535人で、特に女性は前年（31人）の4倍近くの激増で、その多くは東南アジアの出稼ぎ女性であります。

原因別では、異性間の性行為が前年の34人から123人へ急増、男性同性愛は38人（前年29人）にとどまっています。

この他、不明77人、母子感染1人となっています。

年齢別では、男性の場合30代が37%で最も多く、次に40代28%、20代24%の順です。女性は20代が67%と圧倒的に若い世代に集中しています。

感染地域を見ると、日本人の場合、男性は海外で感染するケースが国内をやや上回り、女性は国内感染が8割近くですが、最近は男性も国内感染のケースが増えています。



ロータリーの理想の真髓は、何ら個人的見返りを求めることなく、進んで他人に援助の手を差しのべることです。

驚くべきことですが、我々にとって最高の幸福感は、他人のために役立つように、また自分がこの世の務めを終った後まで永続するような目的のために、惜しみなく自分の時間と労力と財力を捧げる時に得られます。

幸福 — それは恐らく人間すべての真底からの熱望 — それが、他人を助けるという行為によって、いともたやすく手に入る、という途方もない秘訣と普遍的真理をロータリアンは分かち合うのです。（ダクターマンR.I.次期会長）

◎齊藤 数馬君の卓話は次回に掲載します。